

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	SMiDデイサービスなな色【児童発達支援】				公表日	2026年 3月 31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0		・送迎の関係や休みの関係で時々足りていないと思う時がある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	・バリアフリーである	・バリアフリーではあるが、動く児にとっては行って良い場所との区別がつきにくいと感じる時がある
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・安全に配慮した空間になっている ・毎日、利用児が帰った後の掃除や物品等の整理をしている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	3	・ワンフロアのため、仕切りで空間を分けてはいるが、部屋と言えるような場所の確保はできないため今後の課題	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1	・各スタッフがより良い運営になるように考え、積極的に意見を出して考えていたと思う	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2	・保護者に評価表を実施したのは今回が初めてのため、今後業務改善に繋げていく	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・毎朝カンファレンスの時間を設けており意見交換、業務改善に取り組んでいる	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・定期的な研修の機会がある	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	2	・各職種の専門的視点を取り入れている	・作成する工程での工夫が必要と感じる
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	2		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	3		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	・各専門職のアセスメントを取り入れ活動プログラムの立案を行っている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・季節毎の行事や発達の後退に合わせた支援を行っている ・季節の移り変わりを感じられる取り組みや、様々な方向から活動が考えられている	

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	SMiDデイサービスなな色【児童発達支援】		公表日 2026年 3月 31日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	・発達年齢に応じ、集団活動の提供や、個別の支援が必要な部分は個別に対応している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	・毎朝カンファレンスを実施	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	・その日の振り返りは終了後に「必ず」は行えないが、気付いた点などはその都度共有している	・支援終了後は勤務終了時間が違うため全員では難しい。その都度情報共有は行っている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1	・日々の記録は出来ており、共有すべき事項は連絡ノートにも記載している	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1	・状態変化がある場合等は6か月を待たず見直しを実施している	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1	・必要があると判断した場合は直接支援の職員も一緒に参加している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	・必要に応じて連携をとっている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	・主に担当者会議の場で情報共有している	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	・ご家族との話の中で必要に応じて見学や情報共有等を行っている	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	2		・現時点では互いの情報共有程度に留まっている
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	5		・外部のこどもとの活動については、個人情報の観点や感染リスクの観点から現段階では実施していない
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4	・開所して1年弱のため、今は信頼関係を築く段階だと考えており、ここまで踏み込んだ支援は行っていない		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・契約時や、その他疑問が出てきた都度説明を行っている		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	SMiDデイサービスなな色【児童発達支援】				公表日	2026年 3月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・相談いただいた内容については保護者の同意を得て、計画相談の相談員にも都度共有させてもらっている		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	3	・写真展やきょうだい児の会への協賛や紹介を行っている		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	・連絡帳やメールを通して双方情報共有する体制を整えている、また相談があった場合には面談や電話で即座に対応している ・即時対応を心掛けている		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・様々な媒体で発信をしている		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・個人情報、感染リスクの観点から现阶段では実施していない		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	・医師指示書をもらい、通所時連絡帳で確認している ・すぐに確認できるように、個人確認カードを作成しベッドサイドに毎日配置している ・薬の変更等はその都度お薬手帳や家族からの申し出で確認させてもらっている	・予防接種の確認までは行っていない	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	・医師の指示書にはアレルギー対応については記載がないが、個人のアレルギーの有無については個人確認カードに記載しており、どのスタッフもすぐに確認できる		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	2			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1			
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0				

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	SMiDデイサービスなな色【児童発達支援】			公表日	2026年 3月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	1			

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	SMiDデイサービスなな色【児童発達支援】		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 26日		2026年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数) 7名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 26日		2026年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 31日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>重度の医療的ケア児を受け入れ可能</li> <li>医療依存度が高い、0歳児から受け入れ可能</li> <li>重度の医療的ケア児の送迎が可能</li> <li>指示書に基づいて、急変時の対応ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護師の人数の確保</li> <li>看護師をはじめ、職員の知識習得のため定期的な研修の実施</li> </ul>	今後も職員の知識の向上のため、定期的な研修の実施を継続していく
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>1人1人に合わせた療育の提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多職種連携で個々の成長発達に合わせた療育を実施</li> <li>季節毎の療育の提供</li> <li>職員が一緒になってイベントを盛り上げている</li> </ul>	今後もご家族の意向を踏まえながら、個々の成長発達に合わせた療育を検討、提供していく
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>質の高いリハビリの提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービス提供時間を通じてリハビリスタッフがいる</li> <li>普段リハビリを受けている事業所との連携</li> <li>家族の意向に寄り添い、成長発達に合わせたリハビリの提供</li> <li>児が楽しくリハビリをできるよう、遊びの中での提供</li> <li>呼吸器をつけている児の肺理学療法の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も知識向上のため、研修に積極的に参加していく</li> <li>他事業所との連携を継続していく</li> <li>ご家族の意向や児の成長発達に合わせたリハビリの実施を継続していく</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	リハビリの希望を多くいただいているが、利用児の増加に伴い希望に添えない日も増えてきている	今後も利用児の増加やリハビリの希望が見込まれるため、今後はリハビリスタッフの増員が必要となってくる	現在、リハビリスタッフの増員を検討中
2	隔離室のスペースが狭い	事業所の限られたスペースの中で、場所を確保させてもらっている	R8年秋頃、移転予定
3	地域との交流が少ない	重度のお子様が進んでいるため、感染等の問題や、個人情報の観点からも現在は実施できていない	地域との交流も視野に入れながら、感染面や個人情報の面からも要検討していく